

令和2年度 鏡石町 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

No.	補助・単独	事例集事例番号	交付対象事業の名称	所管	地方創生臨時交付金実施計画 ＜事業の概要＞ ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	経済対策との関係	交付対象事業の区分 （地域未来構想20との該当関係）	事業始期	事業終期	総事業費 （円）	国庫補助額 （円）	交付対象経費 （円）	一般財源 （円）	その他 （円）	事業の成果	事業の実施による効果検証
1	単	12	公共的空間安全・安心確保事業	総務課	①役場庁舎での感染予防のため、来庁者対応の窓口等にビニール幕、飛沫防止ボードを設置する。 ②窓口ビニール幕設置のための経費に充当 ③ビニール幕設置工事112,409円、飛沫防止ボード購入(大)@3,000×25台×1.1=82,500円、(小)@2,500×40台×1.1=110,000円 ④役場庁舎	I-1. マスク・消毒液等の確保	①3密対策	R2.4	R2.4	304,909	-	304,500	409	-	・役場窓口にビニール幕を設置 ・飛沫防止ボードを購入し、役場庁舎等に配備	不特定多数の来庁者がある中で、ビニール幕の設置及び飛沫防止ボードを配備することにより、安心して手続きできる体制づくりにつながった。
2	単	35	衛生確保事業	健康環境課	①感染症予防対策用として来庁者対応等による職場環境を整えるため、職員の感染予防に努める ②窓口等に設置する消毒液購入のための経費に充当 ③消毒液 * 手指消毒用20L; @9,000×3×1.08=29,160 350ml; @780×10×1.1=8,580 * 屋内消毒用15kg; @7,700×1×1.1=8,470 不織布マスク配布用上質紙 @1,900×5枚×1.1=10,450 消毒液 * 手指消毒用18L; @8,100×3×1.08=26,244 手袋 * 室内消毒用100枚入; @840×3×1.1=2,772 キッチンペーパー * 屋内消毒用4個入; @270×3×1.1=891 ④公共施設	I-1. マスク・消毒液等の確保	①いずれも該当しない	R2.4	R2.5	86,567	-	86,500	67	-	・役場庁舎等に消毒液などの衛生用品を配備	不特定多数の来庁が見込まれる役場庁舎において、衛生用品等の配備により安心して来庁できる環境を整えることが出来た。
3	単	38	必需物品供給事業	総務課	①感染症予防用として、来庁者対応等による職場環境を整えるため、職員の感染予防に努める ②空間除菌用の首掛けホルダーを購入するための経費に充当 ③首掛けホルダー@2000×200個 400千円 ④-	I-1. マスク・消毒液等の確保	①いずれも該当しない	R2.4	R2.5	400,000	-	400,000	-	-	・職員全員へ空間除菌用の首掛けホルダーを配布	職員と町民が接触する際に、感染防止効果のある物を身につけることで、感染防止につながった。
4	単	38	必需物品供給事業	総務課	①世界的なマスク不足による緊急的措置として町民全世帯へのマスク配付 ②マスク購入のための経費に充当 ③マスクレギュラーサイズ @50×50,000枚×1.1=2,750,000 ④町民(全世帯)	I-1. マスク・消毒液等の確保	①いずれも該当しない	R2.4	R2.4	2,750,000	-	2,750,000	-	-	・町民全世帯へ一帯当たり10枚のマスクを配布	町民がマスク不足の状況の中で、町が一括購入配付することで、町民の感染防止につながった。
5	単	12	公共的空間安全・安心確保事業	総務課	①役場庁舎内での感染予防のための換気を実施するに当たり、網戸を設置する。また、飛沫感染防止のために会議室等に設置するパーテーションを購入、庁舎窓口に飛沫対策の仕切り版を設置する。 ②網戸設置、パーテーション購入に要する経費 ③網戸設置工事費 1,600,718円 飛沫防止パーテーション(小)@3,707×35=129,745、(大)@5,962×8=47,696、窓口飛沫仕切板設置工事990,000円、窓口飛沫防止アクリル板購入70,950円 ④役場庁舎	I-1. マスク・消毒液等の確保	①3密対策	R2.6	R2.12	2,839,109	-	2,838,500	609	-	・役場窓口に飛沫防止アクリル板を設置 ・飛沫防止パーテーションを購入し、役場庁舎等に配備	不特定多数の来庁者がある中で、窓口にアクリル板や換気のために網戸を設置することにより、安心して手続きできる体制づくりにつながった。
6	単		事業継続緊急支援給付金給付事業補助金	産業課	①消費活動自粛の影響により売上げが前年同月比で20%以上減少している町内事業者に対し、事業継続のための支援金を給付する。 ②事業継続のための支援金の給付事業を実施する商工会へ事業費、事務費を補助金として交付する。 ③事業費補助: 令和2年2月～4月減少分一律10万円 @100,000×185事業所=18,500千円 令和2年5月～7月減少分一律10万円 @100,000×212事業所=21,200千円 事務費補助: 諸経費に対する補助金 申請受付・相談体制に対する経費: 456,497円、郵送料: 132,252円、振込手数料: 224,950円、ゼロックス料等: 112,162円 ④商工会から町内事業者へ交付	II-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	①いずれも該当しない	R2.4	R2.10	40,625,861	-	40,625,750	111	-	・前年同月比で20%以上売上げが減少した町内事業者へ給付金10万円 397件支給	給付金を支給することにより事業継続のための支援が図れた。
7	単		事業継続緊急支援店舗等維持家賃補助金	産業課	①消費活動自粛等に伴う売上げの急減による経済的な打撃を受けた飲食店業をはじめとした町内事業者に対し、事業継続のために店舗賃借の家賃を支援する。 ②店舗賃借に係る家賃に対する補助 ③1事業者あたり1か月分家賃額(上限5万円) 54事業所 2,428,332円 その他事務経費 役務費35,336円 ④町商工会から町内事業者へ交付	II-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	①いずれも該当しない	R2.6	R2.10	2,463,668	-	2,463,500	168	-	・前年同月比で20%以上売上げが減少した町内事業者へ家賃補助金 上限5万円、54件を支給	補助金を支給することにより事業継続のための支援が図れた。

令和2年度 鏡石町 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

No.	補助・単独	事例集事例番号	交付対象事業の名称	所管	地方創生臨時交付金実施計画 ＜事業の概要＞ ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	経済対策との関係	交付対象事業の区分 （地域未来構想20との該当関係）	事業始期	事業終期	総事業費 （円）	国庫補助額 （円）	交付対象経費 （円）	一般財源 （円）	その他 （円）	事業の成果	事業の実施による効果検証
8	単	35	事業継続事業 消毒液等購入補助事業	産業課	①町内事業者が営業等を継続するに当たり、感染症拡大防止のため、商工会において消毒液等の交付する事業を実施することからその事業費の一部を補助金として交付する。 ②商工会が消毒液等購入する費用への補助 ③手指消毒用1L @750×400事業所=300,000円分を補助金として交付 ④町商工会	I-1. マスク・消毒液等の確保	②①いずれも該当しない	R2.6	R3.1	300,000	-	300,000	-	-	町内事業者へ感染拡大防止のための消毒液 400本配布	手指消毒をすることにより感染拡大防止を図れた。
9	単	35	衛生確保事業	健康環境課	①町民の公共施設等利用や相談窓口などの消毒液等、医薬材料を購入し、感染症拡大防止対策に努める ②医薬材料費等を購入するための経費に充当 ③感染拡大防止に係る消耗品等 1,173千円、医薬材料費 4,225千円、備品購入費 1,337千円 ④公共施設、医療機関等	I-1. マスク・消毒液等の確保	①③密対策	R2.5	R3.3	6,735,101	-	6,734,100	1,001	-	・役場庁舎等の公共施設、学校、幼稚園等における衛生用品の購入 ・感染予防に必要な備品等を購入の上学校等に配備	不特定多数の来庁が見込まれる役場庁舎において、衛生用品等の配備により安心して来庁できる環境を整えることが出来た。 また、学校等の教育施設においても、子どもが安心して生活できる環境を整えることが出来た。
10	補		学校臨時休業対策費補助金	教育課	①全国一斉臨時休業期間内の学校給食発注済食材の主食・牛乳の加工賃等の経費補助 ②学校給食事業者への主食委託加工賃等の経費補助金のための経費に充当 ③補助額学校給食休業期間（一小：12日間380千円、二小：12日間97千円、中学校：9日間163千円） ④学校給食事業者	I-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	②①いずれも該当しない	R2.4	R2.7	638,846	479,000	159,000	846	-	学校給食主食等の加工済分について、補填	学校給食主食等を加工してしまった分について補填したことで業者の経費負担軽減に繋がった。
11	単	12	換気システム設置事業	総務課	①感染症拡大防止の観点から、換気・冷暖房設備の環境整備を整えるため、機器更新に努める ②役場庁舎エアコン機器更新費用 ③23台整備工事費 18,260千円 ④-	I-1. マスク・消毒液等の確保	①③密対策	R2.6	R2.9	18,260,000	-	18,260,000	-	-	・役場庁舎の換気対策としてエアコン機器の更新	不特定多数の来庁者がある役場庁舎の換気対策を強化することで、感染拡大防止につながった。
12	単	103	GIGAスクール端末導入事業	教育課	①GIGAスクール構想の実現に向けて、児童生徒1人1台のタブレット端末の早期整備を図る。 ②教職員、予備端末（1,193台のうち110台）及び補助上限（1台@45,000）を超える部分 ③タブレット端末@45,000×110台 = 4,950千円 授業支援ソフト経費1,193台分一式 16,275千円 端末設定経費1,193台分一式 6,490千円 ④第一小学校、第二小学校、鏡石中学校	IV-3. リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速	⑨教育	R2.9	R3.3	27,715,000	-	27,715,000	-	-	児童生徒一人1台のタブレット端末（iPad）を整備 町立小中学校合計1,193台	一人1台のタブレット端末を整備したことにより、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け休校になった場合には、自宅での学習がオンラインでできる環境の整備が図れた。
13	単	38	必需物品供給事業（障がい者対策事業）	福祉こども課	①障がいによりマスクの購入機会が確保できない者に対し、感染拡大防止の観点から、マスクを配布する。 ②マスクを購入し、対象者に郵送等により交付する経費 ③マスク 50枚×650人分 346,500円 梱包用袋代 650人分 16,452円 郵送料 211,400円 ④障害手帳保持者	I-1. マスク・消毒液等の確保	②①いずれも該当しない	R2.9	R3.1	574,352	-	574,000	352	-	障害者手帳所持者に対して不織布マスクを1人当たり50枚を購入し感染予防対策として配布	障害者の方が、通院や福祉サービス利用の際にマスクが着用でき感染予防対策に役立てることができた。
14	単	38	必需物品供給事業（高齢者対策事業）	福祉こども課	①感染により重篤化するリスクが高い高齢者の閉じこもりなどによるフレイルを防止するため、感染拡大防止必需物品の支給や、高齢者が活動する拠点に感染拡大防止必需物品を整備する。 ②75歳以上の高齢者へマスクの配布及び老人福祉施設等への感染拡大防止備品の整備する。 ③ ・高齢者 10枚×1,800人分=285,120円 郵送料 160,692円 ・施設 除菌水生成器 346,500円×1台=346,500円 空気清浄器(18畳用) 133,500円×3台=440,550円 空気清浄器(12畳用)88,000円×4台=352,000円 ④75歳以上の高齢者	I-1. マスク・消毒液等の確保	①③密対策	R2.9	R3.1	1,584,862	-	1,584,000	862	-	75歳以上の高齢者に対して不織布マスク1人当たり10枚を購入し感染予防対策として配布	高齢者が日常生活の外出の際にマスクを着用でき感染予防対策に役立てることができた。
15	単	53	プレミアム商品券事業	産業課	①地域経済の活性化対策として、地域における消費喚起を目的に商品券を発行する。 ②③プレミアム付商品券のプレミアム分事業費及び商品券印刷費等事務費を商工会へ補助金として交付する。 ④商工会から町民へ販売	Ⅲ-2. 地域経済の活性化	⑩商品券・旅行券	R2.9	R4.1	23,651,471	-	23,651,000	471	-	プレミアム付商品券の発行	新型コロナウイルス感染症拡大により落ち込んだ消費の回復を図るため、プレミアム付商品券を発行し町内の消費喚起と事業者支援をすることができた。

令和2年度 鏡石町 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

No.	補助・単独	事例集事例番号	交付対象事業の名称	所管	地方創生臨時交付金実施計画 ＜事業の概要＞ ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	経済対策との関係	交付対象事業の区分 （地域未来構想20との該当関係）	事業始期	事業終期	総事業費 （円）	国庫補助額 （円）	交付対象経費 （円）	一般財源 （円）	その他 （円）	事業の成果	事業の実施による効果検証
16	単	36	避難所感染症防止対策事業	総務課 産業課	①災害時に避難所として使用する集会所の3密対策として多くの避難所が必要となることから、和式トイレの集会所を洋式化し、避難所の利便性の向上を図る。 ②トイレの洋式化に要する経費 ③11施設改修工事費 11129千円 ④集会所11施設	①-I-1. マスク・消毒液等の確保	②いずれも該当しない	R2.11	R3.3	11,129,065	-	11,129,000	65	-	新型コロナ感染防止対策として、災害時に避難所として使用する集会所の和式トイレを洋式化	有事の際に備えた環境整備を図ることで、避難所における感染拡大防止の準備を行うことができた。
17	単	70	ふるさと特産品商品開発事業	総務課	①当町の特産品である「岩瀬きゅうり」、「鏡石産いちご」等果物野菜を使用した商品を開発・販売することで特産品のPRを行う。特産品を使用することで生産者の支援、販売することで販売業者である小売店を支援し、地域活性化を図る。また、販路拡大を図ることで事業者の生産性向上も図りたい。 ②商品開発に要する経費、PR用商品購入費用 ③開発商品購入費 1,370千円、事務費として、需用費1,149千円、役員費330千円、委託料22千円、補助金300千円、使用料及び賃借料55千円 ④地域内事業者等	Ⅲ-2. 地域経済の活性化	⑤強い農林水産	R2.9	R3.3	3,226,365	-	3,226,000	365	-	町特産品を活用した商品の開発、販路の拡大	これまで流通していなかった特産品のB級品等を利用し、商品化することで、新たな地域経済の循環を作ることができ、生産者、製造者、販売者間の繋がりも生むことができた。
18	単		町公式ホームページリニューアル構築事業	総務課	①町公式ホームページリニューアル構築を行うに当たり、感染症情報及び感染拡大防止策の情報等が住民に伝わりやすい構成にする。また、災害時等によるアクセス集中によるサーバーダウン、応答遅延を防ぐための緊急用ホームページを準備し、情報を速やかに発信するためのページを構築する。 ②リニューアル構築に要する経費 ③ホームページ改修403,000円 WEBアクセシビリティ対応100,000円、災害時専用サイト構築60,000円、CMSバージョンアップ600,000円、サーバーアップデート200,000円、消費税136,300円 合計1,499,300円 ④町民	I-6. 情報発信の充実	④行政IT化	R2.8	R2.11	1,499,300	-	1,499,000	300	-	町公式ホームページのリニューアル	感染症情報等を分かりやすく住民に伝えられるよう、常時情報とはカテゴリのすみ分けを図ることで、見た目でも分かりやすいホームページを構築出来た。また、災害時等の情報伝達の方法を刷新し、アクセス集中回避策も講じた。
19	単		公共施設等Wi-Fi整備事業	総務課	①感染症予防のための外部や庁内のWEB会議等に対応するためにアクセスポイントを設置する。また、分散勤務時のイントラへの接続、災害時に住民等が情報収集を行える環境を整える。 ②庁舎等の無線LAN環境の整備に要する経費 ③公共無線LAN整備工事 7,975千円、通信費20千円 ④拠点公共施設5施設	I-6. 情報発信の充実	⑤防災IT化	R2.9	R3.3	7,995,456	-	7,995,000	456	-	公共施設にWi-Fi環境を整備	庁内の分散型勤務（特にWeb会議等）が可能となり、感染症のリスク回避ができた。また、非常時のリスクマネジメントの備えともなっている。
20	単		公共機能分散型事業	総務課	①職員等が感染した場合、事務所を閉鎖し、除菌を行うこととなるが、その場合でも他の場所で業務が行えるよう業務データを一元管理できるファイルサーバを新設し、イントラサーバを更改する。 ②サーバ新設、イントラサーバ更改に要する経費 ③ファイルサーバ2基新設委託料 7,260千円 ④庁舎内サーバ室	IV-3. リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速	④行政IT化	R2.9	R3.3	7,260,000	-	7,260,000	-	-	業務データを一元管理するファイルサーバを構築	ネットワーク接続拠点であれば、業務データへ接続が可能となったため、自席に限らない業務体制をとることが可能となった。分散型勤務やテレワークの推進にもつながった。
21	単		公共機能維持事業	総務課	①感染症対策として、「分散型勤務」を可能とするために公共施設のイントラ環境整備を実施する。 ②イントラ環境整備に要する経費 ③LAN製品ハブ@8,305×6個=49,830円、回線開通工事50,270円 ④町構造改善センター	IV-3. リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速	②いずれも該当しない	R2.5	R2.7	100,100	-	100,000	100	-	公共施設のイントラ環境を整備	職員が新型コロナウイルス感染症に感染し庁舎等が閉鎖となった場合に備えた「分散型勤務」を可能にすることで、有事の際に住民サービスを低下させない環境づくりにつながった。
22	単	36	避難所の新型コロナウイルス感染症対策強化事業	総務課	①避難所における新型コロナウイルス感染症対策の強化 ②避難所における新型コロナウイルス感染症対策に要する物品等の購入経費 ③マスク(50枚入り) 400箱 475,200円 消毒液(1L) 100個 242,000円 フェイスシールド 200枚 37,400円 ハンドソープ(500ml×24本) 5箱 52,800円 プラスチック手袋(100枚入り) 10箱 9,680円 ペーパータオル(42パック入り) 5箱 23,100円 ポリガウン 100枚 16,500円 非接触型体温計@ 20個 99,000円 防災テント 10個 77,000円 ダンボールベッド、パーテーション 30式 363,000円 ダンボール床 40枚 14,916円 特定財源:県支出金 705千円 ④災害時の避難所	I-1. マスク・消毒液等の確保	①3密対策	R2.9	R3.3	1,410,596	-	705,500	96	705,000	避難所における感染対策用品を整備	災害時の避難所運営における感染症対策用品の整備をし、避難所における感染拡大防止の準備を行うことができた。

令和2年度 鏡石町 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

No.	補助・単独	事例集事例番号	交付対象事業の名称	所管	地方創生臨時交付金実施計画 ＜事業の概要＞ ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	経済対策との関係	交付対象事業の区分 （地域未来構想20との該当関係）	事業始期	事業終期	総事業費 （円）	国庫補助額 （円）	交付対象経費 （円）	一般財源 （円）	その他 （円）	事業の成果	事業の実施による効果検証
23	単	24	公共交通事業者感染症対策事業	総務課	①公共交通事業者が実施する感染症拡大防止対策に要する経費に対して補助金を交付する。 ②公共交通事業者が車両に対する感染症拡大防止対策に要する経費 ③タクシー事業者 1台につき30千円 観光バス事業者 1台につき50千円 @30千円×7台=210千円 @50千円×5台=250千円 ④タクシー事業者1団体、観光バス事業者1団体	I-1. マスク・消毒液等の確保	①3密対策	R2.7	R2.11	460,000	-	460,000	-	-	・車内にアルコール消毒液を設置 ・運転手用使い捨てマスクの配備 ・キャッシュレス決済(PayPay)の導入	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に係る取組みを行っている公共交通事業者に対して支援を行うことにより、本町における継続的な感染拡大防止の推進を図るとともに、町民生活に不可欠である安全・安心な公共交通の維持確保につながった。
24	単	12	公共的空間安全・安心確保事業	総務課	①役場庁舎の入口にサーマルカメラを設置し、来庁者の感染症の感染拡大防止に努める。 ②施設利用者の感染症の感染拡大防止のためのサーマルカメラ等の購入費 ③サーマルカメラ(設置型)3台、その他付属品一式4,620千円 ④役場庁舎	I-2. 検査体制の強化と感染の早期発見	②いずれも該当しない	R2.7	R2.11	4,620,000	-	4,620,000	-	-	・役場庁舎の入口にAIによる顔検出＋個別の体表面温度を検出するサーマルカメラを設置。(入口3箇所) ・来庁者の検温と温度表示による注意喚起のため正面入口にモニターを設置。 ・画面キャプチャ機能により来庁者の検温時スナップショットを記録。	役場庁舎の入口にAIによる顔検出＋個別の体表面温度を検出するサーマルカメラと検温を表示するモニターを設置することにより、来庁者の検温と温度表示による注意喚起を行い、感染症予防に努めることができた。
25	単	106	新生児応援特別給付金事業	税務町民課	①特別定額給付金の対象外となっている4月28日以降の出生児に特別定額給付金と同様の支援を行うことにより、経済的負担の軽減を図る。 ②出生児一人当たりに対し、100千円の給付 ③100千円×67名=6,700千円 ④町内居住の令和2年4月28日から令和3年3月31日までの出生児の保護者	II-4. 生活に困っている世帯や個人への支援	②いずれも該当しない	R2.7	R3.4	6,700,000	-	6,700,000	-	-	・期間中に出生した67名の新生児を対象に保護者へ交付	新型コロナウイルス感染症の拡大による影響のもと、出産した子どもを養育する父、母または養育者に給付することにより、子育て世帯の精神的苦痛及び経済的負担の軽減が図られた。
26	単	35	福祉事業実施団体等衛生確保事業	福祉こども課	①町内で活動する地域サロン事業を実施している14団体に、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のための必需品の購入費を補助する。また、町内に事務所を置く、障害、介護、高齢福祉サービス事業者に対しても、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための必需品購入のための支援金の交付を行う。 ②マスクや消毒液等の購入経費の補助 ③地域サロン実施団体 100,000円×12団体=1,200,000円 福祉関係サービス事業所13事業所(上限150千円) 1,842,900円 ④サロン実施12団体、福祉サービス事務所13事業所	I-1. マスク・消毒液等の確保	①3密対策	R2.9	R3.3	3,042,900	-	3,042,000	900	-	・社会福祉法人鏡石町社会福祉協議会が実施するいきいきサロンに対し補助金を交付 (1サロン100,000円×12サロン) ・鏡石町福祉関係事業所13事業所に対し感染症対策のための補助金を交付	マスクや非接触型体温計、消毒液等感染症予防のための消耗品、備品を購入してもらうことで感染症予防に役立てることができた。
27	単	12	老人福祉施設衛生確保事業	福祉こども課	①町で所有する老人福祉センター、屋内ゲートボール場における、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として、事務所を中心に換気対策として網戸を設置する。また、感染予防対策としてサーモグラフィカメラを設置し、新型コロナウイルス感染症拡大を未然に防止する。 ②網戸の設置、サーモグラフィカメラの設置 ③老人福祉センター・屋内ゲートボール場網戸設置工事費 638,000円 老人福祉センターサーモグラフィカメラ購入費 396,000円 ④老人福祉センター、屋内ゲートボール場	I-1. マスク・消毒液等の確保	①3密対策	R2.9	R3.2	1,034,000	-	1,034,000	-	-	・老人センターと屋内ゲートボール場の換気対策として網戸を設置 (老人センター17箇所 屋内ゲートボール場16箇所)	網戸を設置したことにより換気を行うことができ感染予防対策に役立てることができた。
28	単	106	ひとり親世帯特別給付金事業	福祉こども課	①子育て負担の増加や家計に影響を受けやすいひとり親世帯の経済的・心理的負担軽減を図るため。 ②子育てと仕事を一人で担う低所得のひとり親家庭へ1万円給付する。 ③給付金: @10,000円×115名=1,150,000円、事務費として 需用費: 9,977円、役員費: 11,000円 ④児童扶養手当受給者	II-4. 生活に困っている世帯や個人への支援	②いずれも該当しない	R2.9	R3.2	1,170,977	-	1,170,000	977	-	・子育てと仕事を一人で担う低所得のひとり親家庭へ1万円給付 (児童扶養手当受給者 対象人数115人 事務費含む)	子育てと仕事を一人で担う低所得のひとり親家庭へ1万円給付することにより、子育て負担の増加や家計に影響を受けやすいひとり親世帯の経済的・心理的負担の軽減を図ることができた。
29	単	35	サーモグラフィカメラ設置事業(児童福祉施設)	福祉こども課	①児童の送迎の際に児童のみならず、保護者の検温とマスク着用の検査も行い、感染症予防対策に努める。 ②児童福祉施設の玄関内にカメラに顔をかざすと「マスク着用」と「体温」を検知するAI機器を設置する。 ③直接購入: @396,000円×3台=1,188,000円 (一・二小放課後児童クラブ2、児童館1) 民間間接補助: 2,372,000円(ぶどうの木2、鏡石保育所1、岡ノ内幼稚園認可外1・保育園1) ④民間施設4施設、公共施設3施設	I-2. 検査体制の強化と感染の早期発見	②いずれも該当しない	R2.9	R3.1	3,560,000	-	3,560,000	-	-	・児童福祉施設の玄関内にカメラに顔をかざすと「マスク着用」と「体温」を検知するAI機器を設置 (民間施設4施設、公共施設3施設)	児童福祉施設の玄関内にカメラに顔をかざすと「マスク着用」と「体温」を検知するAI機器を設置することにより、児童の送迎の際に児童及び保護者の検温とマスク着用の検査を行い、感染症予防に努めることができた。

令和2年度 鏡石町 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

No.	補助・単独	事例集事例番号	交付対象事業の名称	所管	地方創生臨時交付金実施計画 ＜事業の概要＞ ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	経済対策との関係	交付対象事業の区分 （地域未来構想20との該当関係）	事業始期	事業終期	総事業費 （円）	国庫補助額 （円）	交付対象経費 （円）	一般財源 （円）	その他 （円）	事業の成果	事業の実施による効果検証
30	単	12	公共的空間安全・安心確保事業	健康環境課	①新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、多くの人が集まる各種事業やイベント等にサーマルカメラを設置し、発熱者の早期発見に努める。 ②各種事業の会場入口等に設置するサーマルカメラを購入する経費に充当 ③サーマルカメラ購入費 1,125千円 ④各種事業・イベント参加者	I-2. 検査体制の強化と感染の早期発見	①いずれも該当しない	R2.9	R3.3	1,124,552	-	1,124,500	52	-	- イベント等の際に利用できるサーマルカメラの購入	移動可能なサーマルカメラの導入により、イベント等においても体温の確認ができるようになったため、イベント等における感染防止と来場者への安心につながった。
31	単	12	公共的空間安全・安心確保事業	健康環境課	①新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、職員間の接触リスクや窓口接客対応時の感染リスクを軽減する環境整備を行うため、事務室の拡張等を行う。 ②事務室パーティション移設等の工事経費に充当 ③事務室拡張改修工事 1,540,000円 ④勤労青少年ホーム	I-1. マスク・消毒液等の確保	①3密対策	R2.6	R2.10	1,540,000	-	1,540,000	-	-	- 狭隘となっていた事務室の拡張工事及び感染予防のためのパーティションの設置	密となっていた事務室を拡張したことで、安心して執務できる体制を整えることが出来た。併せて、感染防止のためのパーティションを設置することにより、来庁者の安心につながった。
32	単	55	農産物直売所等感染防止緊急支援事業	産業課	①農産物直売所での感染症の感染拡大防止 ②農産物直売所で行う感染症の感染拡大防止に要する経費の補助 ③費用の1/2を補助、上限10万円 4事業所＝172千円 ④町内の農家が営む農産物直売所	I-1. マスク・消毒液等の確保	①3密対策	R2.8	R3.2	172,000	-	172,000	-	-	- 飛沫防止シートの設置 ・エアコンや空気清浄機の設置	飛沫防止シート設置による新型コロナウイルスの拡散防止を図り、エアコンの設置により猛暑の中での作業効率化及び感染防止に安心が図られた。
33	単	12	公共的空間安全・安心確保事業	総務課 産業課	①町コミュニティセンターに設置されているまの駅にサーマルカメラを整備、また、網戸を設置し、感染症の感染拡大防止に努める。 ②施設利用者の感染症の感染拡大防止のためのサーマルカメラの購入費、網戸の設置費用 ③移動設置型カメラ2台、ハンディ型カメラ1台、その他付属品3,245千円、網戸設置1か所22,000円 ④町コミュニティセンター	I-1. マスク・消毒液等の確保	①いずれも該当しない	R2.6	R2.11	3,267,000	-	3,267,000	-	-	- サーマルカメラ 2台設置	感染症拡大を抑えるため体温を測定し未然防止を図られた。
34	単	53	外食産業テイクアウト支援事業	産業課	①町内飲食店において新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、テイクアウトの取組を行っている飲食店のグルメマップを作成する。 ②「テイクアウト対応グルメマップ」作成費用への補助 ③グルメマップ印刷費(6,000部) 300,000円 ④町内飲食店利用者	Ⅲ-2. 地域経済の活性化	①いずれも該当しない	R2.8	R3.3	300,000	-	300,000	-	-	- グルメマップ 3,000部作成	外出自粛や売上げ減少の支援が図られた。
35	単	44	6次産業化商品開発支援事業	産業課	①地場産品を活用した新たな商品の開発に対して補助金を交付する。 ②6次産業化商品開発支援（機器の購入）に対する補助金 ③1件（1商品） 350,000円 ④新商品を開発した事業者または団体 1件	Ⅲ-2. 地域経済の活性化	①いずれも該当しない	R2.10	R3.5	350,000	-	350,000	-	-	- 町公式キャラクター姿焼きプレート 1セット	観光客の減少や地域経済が減少傾向にある中、地場産品を使用した新たな商品開発をした。
36	単	56	6次産業化支援事業	産業課	①農産物の販路拡大のための6次産業化を支援 ②6次商品化するための整備費用の補助 ③1農業者、補助率3/4 343千円×3/4=257千円 ④農業者	Ⅲ-2. 地域経済の活性化	①いずれも該当しない	R2.10	R3.3	257,000	-	257,000	-	-	- 農作物乾燥機の設置	収入が落ち込んだ農業者が農産物資源を活用した6次化商品開発のための取り組みがなされた。
37	補	12	学校保健特別対策事業費補助金	教育課	（学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業） ①段階的な学校再開に伴い、学校の感染症対策等を徹底しながら子供達の学習保障を支援する。 ②学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援経費（補助率1/2） ③小学校2校3,000千円、中学校1校1,500千円 ④第一小学校、第二小学校、鏡石中学校	I-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	①3密対策	R2.4	R3.3	4,500,000	2,250,000	2,250,000	-	-	- 各学校の児童生徒及び教職員、来校者の体調管理のためサーマルカメラを購入し入口に設置 感染防止対策消耗品（消毒液・ゴム手袋等）の購入 小学校学習旅行バスの借り上げ（1学年1台増）	サーマルカメラの設置、消毒液等の購入、校内の清掃を行うことなどで、児童生徒及び教職員、来校者の体調管理や、ウイルスの除去を行い感染拡大防止につながった。 バスを1台増やすことで密を回避し、感染防止対策を図れた。
38	単	102	修学旅行のキャンセル料等支援事業	教育課	①学校臨時休業や県外移動自粛等により、予定していた修学旅行や宿泊学習が延期・中止となった場合に、保護者等が負担するキャンセル料等を補填して経済的な負担軽減を図る。 ②修学旅行等の中止や延期等により発生する諸費用の一部 ③（中学校） （中学校修学旅行） @2,892×生徒124名＝358,608円 ④第一小学校、第二小学校、鏡石中学校	I-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	①いずれも該当しない	R2.4	R2.11	358,608	-	358,000	608	-	- 中学校の修学旅行延期に伴うキャンセル料について、保護者の経済的負担の軽減	修学旅行のキャンセル料を負担することで、保護者の経済的負担の軽減につながった。
39	単	12	学校換気対策事業	教育課	①感染症の拡大防止の観点から、学校における換気対策として、児童、生徒及び教職員が使用する教室等に網戸を設置する。 ②教室等への網戸設置経費（未設置校） ③小学校1校88か所、中学校1校122か所 3,828千円 ④第二小学校、鏡石中学校	I-1. マスク・消毒液等の確保	①3密対策	R2.8	R2.10	3,828,000	-	3,828,000	-	-	- 小中学校の換気対策用に網戸を設置	児童生徒の授業中や休憩時間など一日を通して定期的な換気が可能となり感染拡大防止につながった。

令和2年度 鏡石町 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

No.	補助・単独	事例集事例番号	交付対象事業の名称	所管	地方創生臨時交付金実施計画 ＜事業の概要＞ ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	経済対策との関係	交付対象事業の区分 （地域未来構想20との該当関係）	事業始期	事業終期	総事業費 （円）	国庫補助額 （円）	交付対象経費 （円）	一般財源 （円）	その他 （円）	事業の成果	事業の実施による効果検証
40	単	107	学生応援事業	教育課	①県内外在住の大学生等を対象として、生活支援のため町内特産品等を送付する。 ②特産品等発送に要する経費（特産品代、送料等） ③発送業務経費 対象者170名×@10,000=1,700千円 送料等 176,958円 ④県内外在住の大学生等	Ⅱ-4. 生活に困っている世帯や個人への支援	②いずれも該当しない	R2.9	R3.3	1,876,958	-	1,876,000	958	-	町内出身の大学生等へ、生活支援のための県内特産品を送付	コロナ過によりアルバイト等ができなくなっている大学生等へ、県内特産品等を送付することにより、大学生等の生活支援に繋がった。
41	単	12	公共的空間安全・安心確保事業	教育課	①新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から社会教育施設の換気設備の環境を整備するため、網戸を設置する。 ②網戸設置工事費に充当 ③既存アルミサッシ用網戸 31箇所（1,705千円） ④鏡石町図書館	I-1. マスク・消毒液等の確保	①3密対策	R2.8	R2.10	1,705,000	-	1,705,000	-	-	図書館内の換気対策用に網戸を設置	来館者の読書での長期滞在において定期的な換気が可能となり感染拡大防止に繋がった。
42	単	12	公共的空間安全・安心確保事業	教育課	①新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から社会体育施設の換気設備の環境を整備するため、空調機器を設置する。 ②空調機器設置工事費に充当 ③業務用エアコンツインタイプ 1基（1,997千円） ④鳥見山陸上競技場	I-1. マスク・消毒液等の確保	①3密対策	R3.2	R3.3	1,997,600	-	1,997,000	600	-	陸上競技場会議室の換気対策用にエアコンを設置	競技場での会議やミーティングルーム、選手控室として用いられる個室の換気環境が充実し、利用者の感染拡大防止に繋がった。
43	単	12	公共的空間安全・安心確保事業	教育課	①新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から社会教育施設の来館者の入館時検温チェック機器を購入する。 ②機器購入にかかる備品費に充当 ③AIサーマルカメラ 1台（435,600円） ④鏡石町図書館	I-1. マスク・消毒液等の確保	②いずれも該当しない	R2.10	R2.11	435,600	-	435,000	600	-	図書館来館者の体調管理用にサーマルカメラを購入し入館口に配置	体温やマスク着用のセルフチェック機器として設置することで来館者の入館前の体調状態把握が可能となり感染拡大防止に繋がった。
44	単		公共施設管理運営持続化支援事業	教育課	①緊急事態宣言にもとづく休業要請と感染拡大防止対策協力に応じた事業者に対する運営管理事業持続化のための支援を行う。 ②運営管理事業継続化のための支援金交付費用に充当。 ③1事業者当たり上限1,000千円※ × 2事業者 = 2,000千円 ※中小事業者向け国持続化給付金の上限額の1/2相当額 ④公共体育施設運営管理関係事業者	Ⅱ-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	②いずれも該当しない	R2.10	R2.12	2,000,000	-	2,000,000	-	-	公共体育施設関係事業者2者からの申請に対して審査し、支援金を交付	体育施設の休館措置（休業要請）に応じ感染拡大防止に協力することで収益事業が出来ず大幅な減収が生じた運営関係事業に支援を行うことで、再開後も運営に支障をきたさずことなく円滑な事業継続が図られた。
45	単	12	公共的空間安全・安心確保事業	議会事務局	①議会傍聴者や出席者の感染予防のため、出席者席等の配置を変更し、傍聴席のスペースを拡大及び空調を改善し、3密を改善するための改修を実施 ②議長席等の座席、マイク・カメラ設備等電気設備の改修及び区長設備の増設に要する経費 ③議場改修工事費 1,910千円、空調設備設置工事 6,226千円 ④議会議場	I-1. マスク・消毒液等の確保	①3密対策	R2.9	R4.3	8,135,600	-	8,135,000	600	-	議長席及び傍聴者席の改善 議場の換気対策として空調設備設置	議長席をコンパクトに改良し、傍聴者席のスペースを拡大し、間隔をとって着席できるようにしたことにより三密の改善に繋がった。 空調設備を設置することで、換気を容易に行えるようにし、傍聴者や出席者が安心して利用できる環境づくりに繋がった。
46	単		行政情報発信強化事業	総務課	①新型コロナウイルス関連情報や防災情報等の行政情報をわかりやすく提供するため、モバイルアプリを導入する ②アプリ導入に要する経費 ③導入業務委託料 990千円 アプリ使用料 72千円 ④町民	①-I-6. 情報発信の充実	④行政IT化	R3.2	R3.3	1,061,500	-	1,061,500	-	-	町公式LINEを導入	多様な情報発信手段として、町公式LINEを導入。感染症に関する情報など防災防疫情報の発信手段の多重化が達成できた。
47	単		テレワーク環境整備事業	総務課	①新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、職員が在宅勤務（テレワーク）に対応できるようシステムを構築 ②テレワーク環境整備及び機器購入に要する経費 ③環境整備業務委託 1,012千円、ノートパソコン5台、iPad及び周辺機器 1,309千円、通信費 18千円 ④職員	①-IV-3. リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速	①3密対策	R2.12	R3.3	2,338,270	-	2,338,000	270	-	テレワーク環境の整備	在宅勤務や分散型勤務が可能となったため、感染症リスクを減らせることができた。また、感染者の接触リスク等を考慮した場合でも勤務体制を整えることができ、住民サービスの低下も防げた。
48	単		庶務管理システム導入事業	総務課	①紙ベースの運用を続けてきた庶務管理を電算化することで、職員同士の接触機会を削減し、感染リスクを可能な限り抑えることで、町政運営の不断・継続を実現する。 ②システムの導入に係る業務委託料（勤怠管理、休暇・休業管理、時間外等管理、各種届出管理等） ③システム購入費 10,978千円 ④職員	①-IV-3. リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速	④行政IT化	R2.12	R3.3	10,978,000	-	10,978,000	-	-	庶務管理システムを導入	紙ベースの申請・決済を続けてきた庶務管理を電算化することで、職員同士の接触機会を削減し、感染リスクを可能な限り抑えることができた。
49	単		災害用無人航空機購入事業	総務課	①災害時の状況把握及び探査について、ドローンを活用して人員削減とコスト削減、探査時間の最長化を図るとともに、人と人との接触機会の削減に繋げる ②ドローン購入費 ③ドローン2機 988千円 ④地方公共団体	①-I-1. マスク・消毒液等の確保	⑤防災IT化	R3.3	R3.3	988,284	-	988,000	284	-	防災ドローンを2機導入	危険な災害現場における現場確認ドローンを導入することで、対応職員の安全を確保し、また、ドローンを活用することで人員削減とコスト削減、探査時間の最長化を図るとともに、人と人との接触機会の削減に繋げることができた。

令和2年度 鏡石町 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

No.	補助・単独	事例集事例番号	交付対象事業の名称	所管	地方創生臨時交付金実施計画<事業の概要> ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	経済対策との関係	交付対象事業の区分(地域未来構想20との該当関係)	事業始期	事業終期	総事業費(円)	国庫補助額(円)	交付対象経費(円)	一般財源(円)	その他(円)	事業の成果	事業の実施による効果検証
50	単		放課後児童クラブICTシステム整備事業	福祉こども課	①放課後児童クラブにおける緊急事態宣言時の臨時開館や休館のための緊急連絡網・入退室管理、体調不良児への保護者への連絡体制の構築のためのシステムを導入にあたり、公衆無線LAN環境の整備も図る。また、災害時に住民等が情報収集を行える環境を整える。 ②放課後児童クラブの光回線整備、無線LAN環境の整備、保育システム導入等に要する経費 ③公共無線LAN整備工事2,101千円、通信費6千円、システム利用料30千円 ④拠点公共施設2施設	①-I-6. 情報発信の充実	②①いずれも該当しない	R2.12	R3.3	2,137,408	-	2,137,000	408	-	・放課後児童クラブの光回線整備、無線LAN環境の整備、保育システムを導入(拠点公共施設2施設)	放課後児童クラブの光回線、無線LAN環境、保育システムを整備することにより、児童が体調不良時の保護者への緊急連絡、休館・開館の連絡網や保護者からの出欠連絡などを専用のアプリにより実施することができた。
51	単		妊婦・子どもへのインフルエンザ予防接種費用助成事業	健康環境課	①新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザとの同時流行に備え、医療機関の負担を軽減するとともに、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ることを目的に、妊婦と子どものインフルエンザ予防接種の費用を助成する。 ②妊婦・子どものインフルエンザ予防接種費用の一部 ③妊婦10人 1回3,000円助成 子ども(1歳~12歳)480人 1回1,000円助成(2回) 子ども(13歳~18歳)255人 1回1,000円助成 ④妊婦及び18歳以下の子ども	①-II-4. 生活に困っている世帯や個人への支援	②①いずれも該当しない	R2.10	R3.3	1,244,900	-	1,244,900	-	-	・インフルエンザ予防接種に対する助成を実施 対象者は妊婦及び18歳未満の子ども	感染することによる重症化リスクが高い妊婦と子どものインフルエンザ予防接種率の向上につながった。新型コロナウイルスと季節性インフルエンザの同時流行に備えた措置として有効であった。
52	単		公共的空間安全・安心確保事業	健康環境課	①施設利用者の感染リスクを軽減する環境整備を行うため ②トイレ、網戸、空調設備等の改修に要する経費 ③成田保健センター設備改修工事費 10,120千円 ④成田保健センター	①-I-1. マスク・消毒液等の確保	①③密対策	R3.3	R3.12	10,120,000	-	10,120,000	-	-	成田保健センターの衛生設備などの更新 ・トイレ小便器フラッシュバルブ交換 6箇所 大便器洋式化6箇所 ・手洗い自動水洗化 10箇所 ・トイレ照明人感センサー取付 5箇所 ・玄関照明人感センサー取付 1箇所 ・網戸:取付25枚 既存張替え4枚 ・エアコン既存取替 5台、新規取付 1台	不特定多数の来庁者がある中で接触の危険のある衛生設備やスイッチを非接触型へ更新し感染リスクを減らした。また、換気設備を更新することにより換気を容易に行えるようにし、施設を安心して利用できる環境づくりにつながった。
53	単		雇用調整助成金申請手数料補助	産業課	①一時的な休業等により労働者の雇用の維持を図ろうとする事業主に対し、雇用調整助成金申請に係る費用の一部を補助することにより、雇用の安定及び事業活動の継続を図る。 ②雇用調整助成金の支給申請に係る事務を社会保険労務士等に依頼した際に要した費用に対し補助 ③6事業者×100千円(補助率1/2 上限100千円) ④町内中小企業者	①-II-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	②①いずれも該当しない	R2.12	R3.4	387,700	-	387,000	700	-	社会福祉労務士等へ委託した雇用調整助成金申請事務経費を補助した。 上限10万円、6事業所へ補助	速やかに雇用調整助成金を申請することにより雇用の安定及び事業活動の継続を図られた。
54	単	69	“まちなか”魅力磨き上げ事業	産業課	①ウィズコロナ・アフターコロナにおける観光集客と「町民の健康増進」と「まちなか」の賑わい創出(観光の復興)、「地域の活性化」のため、町の特性や町の魅力を更に磨き上げ、「駅に降りてみたい」「町を歩いてみたい」まちづくりのため“まちなか”周遊ルートの作成並びに町の観光スポットである田んぼアートをさらに進化させ「歩く田んぼアート」として田んぼアート歴代作品のモニュメントを作成し周遊ルートの拠点づくりと「新たな観光」の創出を図る。 ②鏡石“まちなか”魅力磨き上げ事業に係る周遊ルート作成委託料及びモニュメント作成に係る工事請負費 ③“まちなか”周遊コース形成委託料 1,980千円 田んぼアートモニュメントデザイン・設計委託 550千円 田んぼアートモニュメント作成工事請負費 6,325千円 ④鏡石町内	①-III-2. 地域経済の活性化	②①いずれも該当しない	R3.3	R4.2	8,855,000	-	8,855,000	-	-	新型コロナウイルスにより外出自粛により運動不足や飲食業等地域経済の低下が懸念されることからモニュメントを設置しまちなか周遊を促し更には町の魅力を発信するためまちなか周遊コースを作成し地域経済の活性化を図った。 ・モニュメント2基設置 ・周遊コース形成事業(パンフレット作成)	町の観光スポットである田んぼアート、田んぼアートギャラリー、田んぼアートモニュメントを結ぶことにより滞在時間を確保することにより飲食業等地域経済の活性化に繋がった。また、まちなか周遊コースを設定することにより歩く機会が増え健康増進に繋がった。

令和2年度 鏡石町 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

No.	補助・単独	事例集事例番号	交付対象事業の名称	所管	地方創生臨時交付金実施計画 ＜事業の概要＞ ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	経済対策との関係	交付対象事業の区分 （地域未来構想20との該当関係）	事業始期	事業終期	総事業費 （円）	国庫補助額 （円）	交付対象経費 （円）	一般財源 （円）	その他 （円）	事業の成果	事業の実施による効果検証
55	単		事業継続緊急支援給付金給付事業補助	産業課	①国の外出自粛要請及び県の飲食店の時間短縮営業要請等の影響により売上げが前年同月または令和2年10月から同年12月のうちの一月との対比で30%以上減少している町内に店舗を構える飲食業及び観光関連業を営む事業者に対し、事業継続のための支援金を給付する。 ②事業継続のための支援金の給付事業を実施する商工会へ事業費、事務費を補助金として交付する。 ③事業費補助： ア 県の時短営業要請の対象となる飲食店 @100,000×24事業所=2,400千円 イ 県の営業時短要請対象外の飲食店 @200,000×11事業所=2,200千円 ウ 観光関連業者 @200,000×2事業所=400千円 事務費補助：諸経費に対する補助金 申請受付・相談体制に対する経費：90,152円、郵送料：3,018円、振込手数料：20,570円 ④商工会から町内事業者へ交付	①-II-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	②いずれも該当しない	R3.1	R3.3	5,113,830	-	5,113,750	80	-	前年同月比で30%以上売上げが減少した町内事業者へ時短営業対象給付金10万円、24件時短営業対象外給付金20万円、13件	給付金を支給することにより事業継続のための支援が図られた。
56	単	94	健康支援事業	都市建設課	①町民の屋内での運動が減少したため、3密を避け屋外にて運動する健康器具を設置し、健康づくりを支援 ②健康器具を設置ための経費 ③うんてい、平行棒、腹筋ベンチ、背伸ばしベンチ、ストレッチ、新生活様式標示板の設置工事費 6,930千円 ④鳥見山公園	①-I-1. マスク・消毒液等の確保	①3密対策	R2.12	R3.4	6,930,000	-	6,930,000	-	-	健康増進のために3密を避け屋外で運動することができる健康器具(けんすい、平行棒、複合器具、背のばしベンチ、腹筋ベンチ)を設置。	新型コロナウイルスの影響で屋内での運動が制限されていたが、3密を避け屋外で運動することが可能となったため町民の健康づくりに効果があった。
57	単	28	読書応援事業	教育課	①新型コロナウイルスの影響で外出を自粛し、在宅で過ごす時間が増えている町民が、家庭で本に親しむ機会をつくるために、学校図書や町図書館の充実を図る。 ②学校図書及び町図書館蔵書増冊経費 ③学校図書、絵本新規購入 @847千円 町図書館一般書及び実用書新規購入 @1498千円 ④鏡石幼稚園、第一小学校、第二小学校、鏡石中学校、鏡石町図書館	I-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	②いずれも該当しない	R3.1	R3.3	2,344,631	-	2,343,000	1,631	-	町立幼稚園及び公立小中学校図書館用の蔵書の購入 町図書館用の蔵書(一般書、児童書、実用書)の購入	町図書館や学校図書館に新たな図書を追加購入し蔵書を増やしたことで、感染拡大防止のために在宅時間が増えた子どもたちや図書館利用者の読書環境の充実化に繋がった。
58	単	12	公共施設衛生設備改修事業	教育課	①災害時の避難所として指定されている社会体育施設(鳥見山体育館、町構造改善センター)の和式トイレなど老朽化したトイレ設備を改修して衛生環境を改善し、施設利用者や避難者の感染拡大防止を図る ②トイレ改修(洋式化、洗面自動水栓化)に要する経費 ③衛生設備改修工事(2施設) 9,350千円 ④鳥見山体育館、構造改善センター	I-1. マスク・消毒液等の確保	②いずれも該当しない	R3.1	R3.3	9,350,000	-	9,350,000	-	-	町体育施設の衛生設備改善のためのトイレ洋式化や手洗い器自動洗浄化への改修	老朽化により衛生環境が低下していた体育施設の衛生設備を新しく改修したことにより環境が回復し、利用者の感染拡大防止に繋がった。
59	単	12	学校施設衛生設備改修事業	教育課	①学校施設(第二小学校)の和式トイレなど老朽化したトイレ設備を改修して衛生環境を改善し、児童や教職員の感染拡大防止を図る ②トイレ改修(大便器洋式化、小便器自動水洗化、床乾式、洗面自動水栓化)に要する経費 ③衛生設備改修工事(1施設) 40,788千円 ④第二小学校	I-1. マスク・消毒液等の確保	②いずれも該当しない	R3.3	R3.10	40,788,000	-	35,465,000	23,000	5,300,000	新型コロナ感染防止対策として、トイレや手洗い場等を洋式化・床の乾式化・自動水栓化を実施。	衛生設備の環境が悪く、トイレや手洗い場などの水周りの自動水栓化を図ったことで、児童や教職員の新型コロナ感染拡大防止に繋がった。
60	単	12	給食調理室換気対策事業	教育課	①新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から学校給食調理室の換気設備を整備するため、空調機器を設置する。 ②空調機器設置に要する経費 ③厨房用エアコン2基 2,640千円 ④第二小学校	I-1. マスク・消毒液等の確保	②いずれも該当しない	R2.12	R3.3	2,640,000	-	2,640,000	-	-	第二小学校の給食調理室にエアコンを設置した	給食調理室の換気環境が充実し、感染拡大防止に繋がった。
61	補	12	学校保健特別対策事業費補助金	教育課	(感染症対策等の学校教育活動継続支援事業) ①安全な環境で子どもたちの学びの充実を図り冬季における感染症対策の強化を図る。 ②学校教育活動継続に伴う感染症対策に係る支援経費(補助率1/2) ③感染症予防消耗品2,236千円、備品購入費108千円、清掃業務委託 1,242千円 ④第一小学校、第二小学校、鏡石中学校	①-I-1. マスク・消毒液等の確保	①3密対策	R3.3	R3.3	3,586,428	1,793,000	1,793,000	428	-	感染防止対策消耗品・備品等(消毒液・ゴム手袋等)の購入 小学校清掃業務の委託	消毒液等の購入などで、児童生徒及び教職員、来校者の体調管理や、校内の清掃を行うことでウイルスの除去を行い感染拡大防止に繋がった。